

令和6年度 葦高小の教育

【教育目標】

愛と信頼による共感的理解を基盤として、
心豊かで心身ともにたくましい児童の育成を目指す。

～「主体的・協働的な子どもの育成」を意図した教育活動の構築～

「考える喜び」「行動する楽しさ」を体現する子どもの育成のために、

《 目指す学校像 》

- 人権感覚が磨かれた、一人一人が大切にされる学校
- 自尊感情（自己肯定感）に満ち、活力に溢れる笑顔いっぱいの学校
- 子どもたちに、考える場や判断する場を豊富に提供する学校

＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝
|| 理想に向かって、誠意ある言動に労を惜しまない、 ||
|| 学年団を核にした「和して同ぜず」のチーム葦高 ||
|| ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝

人的・物的環境へのアンテナが高く、意欲的な姿勢

子どもの想いに共感し、共に歩む受容的態度

報・連・相（・報）と共通理解で組織的な指導

《 目指す児童像 》

- ① あせを流して働く子（労働意欲・一生懸命さ・主体性）
- ② しんせつでやさしい子（言葉遣い・手助け・想像力）
- ③ たくましく強い子（体力向上・健康管理・強い心）
- ④ かんがえてくふうする子（創意工夫・判断力・行動力）